

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公表番号】特表2003-503153(P2003-503153A)

【公表日】平成15年1月28日(2003.1.28)

【出願番号】特願2001-507394(P2001-507394)

【国際特許分類】

A 61 L 31/00 (2006.01)

A 61 F 2/84 (2006.01)

【F I】

A 61 L 31/00 P

A 61 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月29日(2007.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ステント本体と、

前記本体の少なくとも一部を覆って配置されるステント被覆と、

前記被覆中に分散された生物活性薬剤とを備え、前記被覆は第1の共重合体及び第2の共重合体を含み、第1の共重合体は前記薬剤を第1の速度にて放出し、第2の共重合体は前記薬剤を第2の速度にて放出し、第2の速度は第1の速度よりも低速であり、よって前記薬剤は前記被覆から第1の速度よりも遅く、かつ第2の速度よりも速い速度にて放出されるステント。

【請求項2】前記第1の共重合体が親水性である請求項1に記載のステント。

【請求項3】前記第2の共重合体が疎水性である請求項1に記載のステント。

【請求項4】前記第1の共重合体が親水性であり、かつ前記第2の共重合体が疎水性である請求項1に記載のステント。

【請求項5】前記第1の共重合体がP L A P E Oを含む請求項1に記載のステント。

【請求項6】前記第2の共重合体がP L A P C Lを含む請求項1に記載のステント。

【請求項7】前記第1の共重合体がP L A P E Oを含み、かつ前記第2の共重合体がP L A P C Lを含む請求項1に記載のステント。

【請求項8】前記薬剤が、パクリタキセル、パクリタキセル類似体、パクリタキセル誘導体、及びそれらの組み合わせからなる群から選択される薬剤を含む請求項7に記載のステント。

【請求項9】長期間にわたって生物活性薬剤を制御可能に放出するためのステントであって、

ステント本体と、

生物活性薬剤と、

前記薬剤を前記ステント本体に付着させ、かつ時間の経過により前記薬剤を前記ステント本体から放出させる手段とを備え、前記薬剤を制御可能に放出するための前記手段は、前記薬剤を第1の期間にわたって第1の速度にて放出する第1の手段と、前記薬剤を第2の期間にわたって第2の速度にて放出する第2の手段との組み合わせを含み、前記第1の

速度は前記第2の速度より速く、かつ前記第1の期間は前記第2の期間よりも短いステント。

【請求項10】 放出するための前記第1の手段が生体吸収性ポリマー材料を含み、かつ放出するための前記第2の手段が生体吸収性ポリマー材料を含み、第1の手段は第2の手段よりも速く吸収される請求項9に記載のステント。

【請求項11】 生物活性薬剤をヒトの体内に放出するステントであって、ステント本体と、

前記ステント本体の少なくとも一部を覆つて配置されるポリマー被覆と、

前記ポリマー被覆に混合された生物活性物質とを備え、前記ポリマー被覆はPLA-PEO共重合体とPLA-PCL共重合体との混合物を含むステント。

【請求項12】 前記生物活性薬剤が、パクリタキセル、パクリタキセル類似体、パクリタキセル誘導体、及びそれらの組み合わせからなる群から選択される薬剤を含む請求項11に記載のステント。